

シリーズ 精華町の下水道②

へ下水道編1 精華町の下水道の現状（その1）

町の公共下水道事業は、生活環境の改善などを目的に、昭和56年に桜が丘地区で初めて事業に着手し、平成11年度より木津川上流浄化センターが供用開始されました。今後も持続性ある公共下水道事業を実施するため、経営改革の一環として、来年度より公営企業化に向けた取り組みを進めているところです。今回は公共下水道事業の現状についてお知らせします。

整備状況

公共下水道整備は、平成32年度概成に向けて実施しており、水洗化率95・2%、整備済下水道に対する接続率は、96・2%となっています。（平成29年度末現在）〔表①〕

〔表①〕

年度	行政人口 (人)	処理人口 (人)	水洗化人口 (人)	処理面積 (ha)	水洗化率 (%)	接続率 (%)
平成24年度末	36,965	36,138	34,175	766.2	92.5	94.6
平成25年度末	37,318	36,607	34,864	771.3	93.4	95.2
平成26年度末	37,489	36,759	35,232	772.5	94.0	95.9
平成27年度末	37,521	36,841	35,392	774.9	94.3	96.1
平成28年度末	37,621	37,068	35,704	775.0	94.9	96.3
平成29年度末	37,444	37,032	35,637	779.0	95.2	96.2

整備率と普及率

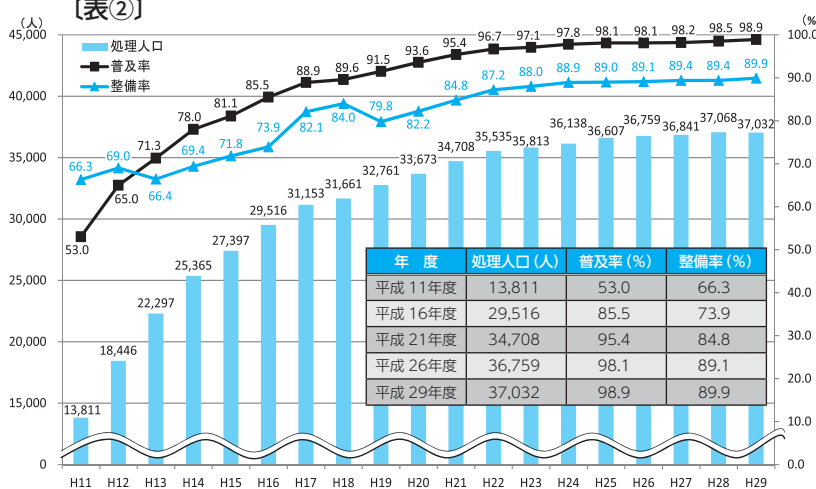
公共下水道事業の認可区域面積の拡大により、整備率が一時的に下がる年度が2カ年ありますが、それ以外の年度は順調に整備率が上昇しています。

また、整備の進捗に合わせて、処理人口および普及率も増加していて、普及率は京都市を含めた京都市内で9番目と高い位置にいます。（平成29年度末現在）〔表②〕

〔注〕処理人口は下水道で処理できる区域の人口

普及率＝処理人口／行政人口
整備率＝処理面積／認可面積

〔表②〕



水質保全の効果

公共下水道事業は、各家庭などから排

〔表③〕 水質調査結果

調査地点	調査日	BOD 生物化学的 酸素要求量 mg/L	SS 浮遊物質 mg/L	全窒素 mg/L
堀池川下流	平成12年9月21日	4.0	1.5	1.10
	平成29年2月22日	1.6	2.0	0.30
九百石川下流	平成12年9月21日	3.7	2.5	1.80
	平成29年2月22日	1.1	2.1	0.70
山田川下流	平成12年9月21日	3.2	4.5	2.30
	平成29年2月22日	0.9	2.0	2.50
煤谷川中流	平成12年9月21日	2.8	4.0	1.20
	平成29年2月22日	0.8	2.0	0.64

出される「汚水」を浄化して川などに戻すことで、水質を保全し水環境をよみがえらせる働きをしています。

右表〔表③〕は、平成11年度に処理場が開設され、汚水処理が始まった当初（平成12年）の町内河川の数値と平成29年に測定した数値とを比較して

いますが、BOD、SS、全窒素の調査結果はかなり改善されていることを示しており、下水道の整備率および普及率が上がるにつれて、町内河川の各調査地点で水質が良くなっていることが分かります。

問 上下水道課 95-11912
経 営 課 94-2049